



- (1) 主眼
知らせる中身を取材からまとめることができる。
(2) 準備
①ワークシート ②デジタルカメラ
(3) 展開

種別	教師の働きかけ	学習活動・内容	過程
①	<ul style="list-style-type: none"> 全校のみんなに知らせたい題(スケッチの対象)を一つに決めることを伝える。 <p style="text-align: center;">全校のみんなに何を知らせるか決めよう。</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 何を知らせたいか(スケッチの対象)を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物 ・建物 ・飼育動物  <p style="text-align: center;">話し合い</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生き物や建物など、前時に取材した自分の写真(知らせたいこと)の中から、全校のみんなに知らせたい写真を1枚選ばせておく。また、選んだ理由も考えさせておく。 ・前時に取材した写真(3枚程度)を机に出させる。 ・写真をもとにスケッチの対象を一つ決定させる。 ・スケッチの対象が一つに統一できないようであれば、自分が選んだ写真以外の写真の中から共通する写真を見いださせる。 	<p>3 知らせる中身(スケッチの視点)の取材をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カエルやチョウなど ・旧校舎やプールなど ・クジャクやウサギなど  <p style="text-align: center;">壁新聞の内容を考える</p>	
ア ①	<ul style="list-style-type: none"> 知らせる中身を取材させるため、その場所へ行きデジタルカメラで再度記録させる。 知らせる中身を意識しながら取材させる。 教室へ戻る時間を指示する。 	<p>4 取材したことをメモしてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類や場所など ・使用目的や年代など ・種類や大きさなど 	

(4) 評価



観点	書く能力		
評価 ア	知らせる中身を取材からまとめることができる。(ワークシート)		
	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
	・知らせる中身を取材から焦点化し、いろいろな観点からまとめることができる。	・知らせる中身を取材から焦点化し、まとめることができる。	【友だちの発表を参考にし、知らせる中身を取材から焦点化させる。】

() は評価方法 【 】 は手だて

★★本時のポイント★★

沖浦小学校のすてきなところを紹介するため、友達とかかわり合い、また自分の思いをまとめるようにさせたい。

- (1) 主眼
スピーチをもとに、話の内容や順序について友達同士で助言し合うことができる。
(2) 準備
①スピーチ原稿用紙 ②スピーチメモ用紙 ③ふり返り用紙
(3) 展開

種別	教師の働きかけ	学習活動・内容	過程
①	<ul style="list-style-type: none"> スピーチの練習を行い、友達の助言を生かしながら原稿を見直していくことを伝える。 <p style="text-align: center;">友だちのスピーチげんこうをおうえんしよう。</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 原稿を見直し、練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿内容 ・スピーチの仕方 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を自分で見直させる。 ・スピーチメモ用紙にある、「時、場所、人物、どうした」や「一番言いたいこと」がはっきりしているか、「思ったり、考えたりしたこと」が書かれているかを見直しのポイントとしてあげ、スピーチの練習をさせる。 ・聞き手によくわかるように、スピーチの速さに気をつけながら練習させる。 	<p>3 友だちのスピーチについて助言し合う。</p> <p>(話し手の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さ ・わかりやすさ <p>(聞き手の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時、場所、人物、どうした ・内容の中心 ・気持ちや考え 	
ア ①	<ul style="list-style-type: none"> 声の大きさ、読む速さ、間の取り方に気をつけながらスピーチさせる。 友達のスピーチを聞き、スピーチメモ用紙の項目に沿って話の内容や順序など助言したいことを書かせる。 聞くことに集中できるように簡略にメモできるスピーチメモ用紙を準備する。 スピーチメモ用紙をもとに、よりよいスピーチ原稿にするために、友だちのスピーチについて助言し合い、友だちのスピーチ原稿を応援させる。 すばらしいところも必ず発表させる。 修正すべきことを児童が指摘することができない場合は、教師の方でアドバイスをを行う。 スピーチ応援団の助言で参考になったことをふり返り用紙に書かせる。 	<p>4 ふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き直したり書き加えたりすること 	

(4) 評価

観点	話す・聞く能力		
評価 ア	話の内容や順序について助言することができる。(発表、ワークシート)		
	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
	・メモをもとに、「時、場所、人物、どうした」や「一番言いたいこと」、「思ったり、考えたりしたこと」などのポイントが的確に助言できる。	・話の内容や順序について助言することができる。	【友達の助言を参考にさせる。】

() は評価方法 【 】 は手だて

★★本時のポイント★★

友達のスピーチをよく聞き、それをもとに助言し合うことで、人とかかわりを深めさせるとともに、原稿を推敲する力を高めさせたい。